

会 議 録 (概要)

会 議 の 名 称	佐渡市文化振興ビジョン検討懇談会 (第2回)
開 催 日 時	令和3年8月31日 (火) 13:30~15:40
場 所	佐渡市役所両津支所 3階 両津地区公民館 会議室
議 題	(1) 第1回検討懇談会会議録の承認について (2) 旧佐渡市文化振興ビジョンの検証について (3) 文化振興ビジョン体系図 (案) における施策について (4) 市民アンケートについて
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出 席 者	<p>【参加者】 9名 (2名欠席) (学識経験又は専門知識を有する者、文化芸術に関する活動を行っている者、関係機関の職員等)</p> <p>【オブザーバー】 世界遺産推進課 課長 下谷徹 (一財) 佐渡文化財団 事務局長 宇治美德</p> <p>【事務局：佐渡市教育委員会社会教育課】 佐渡学センター センター長 濱崎賢一 同 文化振興係 係長 鶴間基宏 同 文化振興係 主事 石川奏重</p>
会 議 資 料	(1) 第2回佐渡市文化振興ビジョン検討懇談会次第 (2) 旧文化振興ビジョンの検証シート【資料1】 (3) ビジョン体系図 (案)【資料2-1、2-2】 (4) 市民アンケート概要【資料3-1、3-2】
傍 聴 人 の 数	0人
備 考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	1 あいさつ
	省略
	2 協議事項 【協議事項1 第1回検討懇談会会議録の承認について】
石川主事	（事務局より説明） ・ 発言の意図が異なるような内容があれば申し出いただきたい。 ・ 承認いただいた会議録については、佐渡市の基準に基づき佐渡市ホームページで公開させていただく。（修正意見がなければ9月3日までに掲載する。）
座長（D氏）	ホームページでの公開について異議はあるか。（異議なし） 議事録に関して修正等はあるか。（発言なし） では、異議なしということでホームページへの掲載を進めてもらいたい。
	【総括】 ・ 承認。9月3日までに、市のホームページに掲載する。
座長（D氏）	次の議事に入る前に、本日欠席された委員から事前に意見等の提出をしていただいているとのことで、事務局から説明をお願いしたい。
鶴間係長	欠席委員からの意見等について説明。 【I氏からの意見】 ・ 基本目標について、「自然」を追加したほうがよい。 ・ 基本方針について、「文化を担う人づくり」は、「担い手の育成」が柱になるとよい。多くの地域の祭りや民謡、トキ、トリアスロンなど、佐渡のイベントで伝統芸能を楽しむ人が多い。 ・ 具体的施策について、旧ビジョンの「文化活動の拠点と文化散策ルート」の整備に関し、「きらりうむ佐渡の資料を入手して学べる」ようにパンフの置き場所を多くしてはどうか。 【J氏からの意見】 ・ めざす姿について、「世界に誇れる歴史と文化と自然の島」→「と」がつながると言葉のすわりが悪いようにも思える。 ・ 基本方針の箇所は、むしろ括弧書きを案②のように外へ出した方がキーワードとして分かりやすい。 ・ 「世界遺産」と「文化財」の適切な管理とは施策で分けるか。 ・ 次世代につなぐことが大事である。根底には保存伝承があり、結果として活用が生まれるのではないか。保存伝承には地域の力が必要であり、地域の力を維持するためにはマンパワーの活用が重要。このこ

	<p>とを施策でもう少し強調してもよいのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに出てくる言葉について、一般の方に分かりやすい言葉に置き換えたほうがよい（例：食文化、生活文化、指定文化財など）。 <p>また、全体をとおしての自由意見欄があってもよいのでは。</p>
座長（D氏）	これらの意見を参考にしながら、この後の議題を進めたいと思う。
	【協議事項2 旧佐渡市文化振興ビジョンの検証について】
鶴間係長	<p>（事務局より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1により、旧ビジョンの自己評価結果を説明。 ・検証機関がないことから、各担当部署での自己評価を行った。しかしながら、旧ビジョンは庁内での共有がされていないものであったこと、目標年次を超えていたこと、構想的側面が強く具体的施策に繋がられていなかったこと等により評価が難しいものであった。 ・新ビジョンにおいては、時代の変化を踏まえた中で、旧ビジョンから引き継ぐべき項目は引きつぐとともに、具体的な行動計画や指標を示したアクションプラン等の策定を並行して進める必要がある。
K氏	自己評価とあるが、佐渡学センター内だけの評価か。世界遺産推進課や文化財室など、関連した所に評価してもらったのか。
鶴間係長	世界遺産推進課や文化財室など、直接担当と考えられる部署に評価をお願いした結果である。
K氏	本来アクションプランを立てて到達目標で評価するのが普通と思うが、旧ビジョンではそのようなものはなかったということか。
鶴間係長	旧ビジョンにおいては、具体的な指標や施策を定めず、大枠のビジョンだけを策定して進めていた。
	<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後作っていく新ビジョンは、具体的な施策や目標を示したアクションプランまで作っていく。 ・細かいところまで作成していくことになるので、時間も多く費やすことになる。
	【協議事項3 文化振興ビジョン体系図（案）における施策について】
鶴間係長	<p>（事務局より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位法となる文化芸術基本法、関連法となる文化財保護法について概略を説明。 ・資料2-1、2-2に基づき、体系図の案①、案②について説明。 ・審議いただきたいこととして次の3点。 <p>①文化の「活用」を加えるかどうか。事務局案としては、文化振興の根底にある「保存・伝承」が薄れてしまうことから、ビジョンに盛り込む必要はないと考えている。盛り込むとした場合においても「地域づくりへの活用」程度でよいのではないか。</p>

	<p>②「めざす姿」について、キャッチフレーズとなる文言の確認及びサブタイトルのカッコ書きの部分をつけるかどうか。事務局の考えは、カッコ書きは基本方針に出る文言のため付けない。文言については、「世界に誇れる歴史・文化・自然の島」または「世界に誇れる歴史や文化と自然の島」。</p> <p>③佐渡市の文化ビジョンとして案①、案②のどちらが合うか。また、施策の柱までを中心に、文言等についてご意見をいただきたい。</p>
座長（D氏）	<p>今日やるところは「施策の柱」までで、「具体的施策」の部分はアンケート結果を踏まえて行いたいとのことである。</p> <p>今ほど事務局の話にあったように、分けて進めて行く。1つ目としては「活用」というところをこの体系図や基本方針に入れるか、という点について。事務局案としては、保存・伝承が薄れてしまうことから入れない。入れたとしても「地域づくり」ということで、旧文化ビジョンにも「地域づくり」という言葉が出ているが、それを継承していくかどうかということも含めて皆様のご意見をお願いしたい。</p>
K氏	<p>その前に質問してよろしいですか。</p> <p>今回の体系図にも関係するのだが、博物館の将来構想みたいな委員会が一度立ち上がって、今ストップしているわけですが、それはこの文化ビジョンが完成したら、それを基に博物館の将来構想を検討するのか。それとも市の総合計画に沿って進めるのか。</p>
濱崎センター長	<p>博物館ビジョンについて、博物館懇談会の中でも、文化ビジョンが完成してからという意見や同時並行で行きましょうという意見もあったりしたところである。文化ビジョンの方向がある程度決まった段階で博物館ビジョンも取り組まなければならないと思っている。今回議論は「施策の柱」までとなるので、博物館までは出てこないと思っているが、文化ビジョンとは別に博物館ビジョンは博物館ビジョンとして考えなければならないと思っている。博物館ビジョンの上位計画としては文化ビジョンになるが、文化ビジョンでは具体的施策あたりになるため、施策の柱は博物館ビジョンにこだわらず皆様の意見で組み立てていただきたい。</p>
座長（D氏）	<p>博物館の話は、体系図でいくと具体的施策あたりになるので、今日はそこまではいかないということですね。</p>
C氏	<p>基本的には文化ビジョンの下に博物館ビジョンがあるのが普通の姿だと思う。今は上下関係だけはっきりさせておきたい。</p>
K氏	<p>そこの確認だけさせてもらった。</p>
座長（D氏）	<p>それでは戻って、「活用」についての意見をお願いしたい。</p>
C氏	<p>案①も案②も基本的には同じことを言っており、その整理の仕方が違っているだけである。私は「活かす」というのは絶対必要だと思う。</p>

	めざす姿のカッコ書きも必要なく、「歴史と文化と自然」の「と」の部分はどうするかは今後の論議として、まず柱はこれでいいと思う。柱を具体的に進める基本方針がカッコ書きの部分になると思うが、案②は細かすぎると思った。基本方針は3つくらいで収めてわかりやすくするのが良いと思う。そういう点では、「活用」という部分を基本方針に別個に立てる必要はないのではないかな。
座長 (D氏)	たしかに基本方針が5つになると、多いと感じる。私も案②だとすると「広める」と「活かす」を合わせたりできるのではないかと感じた。
F氏	基本方針について、最近いろいろなところで名詞ではなく動詞を使ったものが見られるが、例えば案①の基本方針は具体的になって見えるのに対し、案②の基本方針のように動詞にしてしまうとお互いがかなり関連していて、基本方針がぼやけているような感じがする。
K氏	同様の意見になるが、案②の基本方針の場合自分だったら何ができるか考えても悩む。基本方針はパッと見て中身がわかるものでなければならぬと思うので、案①の方がすっきりする。ただし改良の余地はある。
A氏	旧ビジョンでは具体的施策がなく評価ができなかったとあったが、確かにこれを見ても具体的施策はやりにくいのかなと思った。例えば、「歴史」「文化」「自然」と分けて、その中で「つなぐ」「育む」「支える」という形にしたらどうか。そうすることで、具体的にやる事が繋がっていくような感じがした。 ただ、この二案でいうと、案①の方が良いと思う。「活用」についても「文化を繋ぐ保存活動」の部分に含められるのではないかな。
K氏	世界文化遺産、世界農業遺産、ジオパークなどを考えると、「歴史」「文化」「自然」で分けられない。佐渡市の場合はいろいろな要素が関連して絡み合っている。
座長 (D氏)	これまでの話をまとめると、案①をベースとして進めて行く案が多いが、その方向でよいか。
一同	「はい」
一同	では、二つ目として「めざす姿」の文言についていかがでしょうか。
K氏	旧ビジョンでは「歴史・文化・自然」となっているので、旧ビジョンを活かす意味でも「歴史・文化・自然」が良いのではないかな。ただ迫力はどうかはわからない。
B氏	「島」の部分ですが、世界遺産推進課で「佐渡は世界の宝島」のCDを出していることもあり、「宝島」にできないかな。
座長 (D氏)	新しい提案ということも含めていかがでしょうか。 私は「歴史や文化と自然」だと違和感を感じる。
C氏	並列ではない。歴史と文化は密接不可分だと思う。

E氏	J委員の資料にも書いてあったが、「と」が続くと少し違和感がある。小学校的で言うと、だいたい「・」で繋ぐ気がする。
C氏	歴史と文化は「・」で繋いでも良いが、自然はそのままで良いのではないか。「世界に誇れる歴史・文化と自然の島」が表現的には自然かと思う。
K氏	「・」だけで繋ぐよりインパクトはある。ただ佐渡市として扱いは並列にあるべきと思う。
座長 (D氏)	表現の問題だと思う。内容としては同じ扱いで、どれが上ということはないと思う。
K氏	世界遺産推進課としてはどう思うか。
下谷課長	めざす姿はビジョンの標語になるものであり、これを見ればすべてがわかるようなものにしなければならない。 行政が作る点では行政用語になってしまうかもしれないが、歴史の中の文化、文化があって歴史が繋がるということもあり、「自然」とは概念バックボーンも異なる点からも、「歴史・文化と自然の島」がしっくりくると思う。
座長 (D氏)	まとめとして、「世界に誇れる歴史・文化と自然の島」でよろしいか。
一同	「はい」
座長 (D氏)	「めざす姿」のカッコ書きは残すかどうかについてはいかがか。
C氏	いらないと思う。
K氏	基本方針に出てくるのでいらないと思う。
座長 (D氏)	めざす姿もすっきりすると思うので、カッコ書きはなしでよろしいか。
一同	「はい」
座長 (D氏)	それでは、「施策の柱」、特に吹き出しの部分などについて、ご意見いただきたい。
F氏	先ほど説明いただいた文化芸術基本法で、自主性や創造性を育まなければならないという柱があったが、そういう点で見ると、「郷土愛の醸成」という言葉が上から目線で、本来なら子どもたちがいろいろな活動を通じて自然と湧き出すものではないかと感じた。例えば「学校教育との連携」というような言葉を入れても良いかと思う。
G氏	文化の「活用」について、施策の柱には入れなくてよいと思うが、具体的施策には必要であると思う。そのうえで、庁内の連携を図っていく必要があると思う。
H氏	「文化の担い手の育成」が大事な部分と思うので、もう少し言葉を考えていきたい。例えば各学校では様々な活動をしていると思うが、最終的には島外に出てしまうため、市内にいる人間の部分が大事になると思う。「文化団体のネットワーク化」も含めてもう少し言葉を考えて

	みたい。
K氏	<p>施策の柱で「歴史」と「自然」が入るところが、「歴史・文化・自然遺産の保存と活用」しかない。残りは「文化」だけとなっていることからバランス的にどうか。</p> <p>あと、「歴史・文化・自然遺産の保存と活用」の言葉はよいとして、注釈で「佐渡金山を中心」とあるが、世界農業遺産やジオパークも佐渡市で取り組む大きな柱であり、これらが絡める場がないことが気になった。</p> <p>施策の柱の標記については、歴史や自然がどうなっているのか、もう少し吟味していく必要がある。</p> <p>それから「文化を育む人材育成」は、対象が子どもだけなのか大人も含むのか、対象に合わせた表現がほしいと感じた。</p> <p>「文化情報の発信」も歴史や自然を含めて発信するわけで、「文化」だけでいいのかどうか。</p>
座長（D氏）	<p>「文化」の定義になるが、めざす姿の「歴史・文化と自然」の「文化」は小さい文化で、基本方針などに出てくる「文化」は自然等も含めた大きい文化となり、ややこしい。本来であれば同じ表の中では同じ使われ方がされないと混乱してしまう。</p>
F氏	<p>第1回懇談会で文化の範囲に「歴史」「自然」を加えて「文化」の定義付けをしたと思う。そうすると、めざす姿の「文化」は「芸術」なのか別の言葉に置き換えられるものなのかがはっきりしない。全体も文化、その下も文化では混乱する。</p>
鶴間係長	<p>第1回懇談会でこのビジョンにおける文化の範囲を歴史や自然も含めたもので定義している。今の体系図でいくと、めざす姿におけるキャッチフレーズにおいては「文化を細分化して表記した」等の注意書きが必要になると考える。</p>
座長（D氏）	<p>ここでこれを議論しても結論が出ないので、今回は「めざす姿」は小さい文化、その他の文化は歴史や自然を含めた大きい文化として捉えることとして続けましょう。</p>
下谷課長	<p>「歴史・文化・自然遺産」の標記について、「遺産」という言葉は既に過去のものとして捉えられることから、自然や芸能などの無形の文化財で現在も生きているものもある点から、「遺産」という言葉は使わない方が良いのではないかと。</p> <p>もう一点、体系図が、文章化していくビジョンの基礎になることから、施策の柱の用語や組み合わせは慎重に議論いただきたいと思う。</p>
E氏	<p>文言の整理をしていただくということをお願いしたい。</p> <p>E委員の言われた「郷土愛」の部分は、同じく違和感があったがよくわかった。</p>

C氏	<p>「歴史・文化・自然遺産の保存と活用」については、「遺産」という言葉を抜いてよいと思う。</p> <p>「郷土愛の醸成と普及啓発」については、F委員が言われたように堅苦しいと感じるので、自然に「郷土の学びと普及」くらいでよいのではないか。</p> <p>活用については、文化は観光や産業とも関連付けた方が持続可能であろうという趣旨からも、「歴史と文化と自然を活かした地域づくり」を入れてほしい。その下には「多様な関係分野との連携促進」が必要と考える。</p>
B氏	<p>「文化の担い手の育成」に関し、「担い手」は支えて中心となっていく人、「伝承者」はそれを引き継いでいく人、となるので、「文化の担い手及び伝承者の育成」とした方がよいと思う。</p>
A氏	<p>具体的施策の検討の際には、「歴史」「文化」「自然」の内容をきっちり押さえて入れてほしい。</p> <p>「歴史・文化・自然遺産の保存と活用」については、「遺産」は不要と考える。また、「保存と活用」とするのであれば、基本方針も「文化を繋ぐ保存と活用」として、他分野での活用もこの中に組み込んではどうかと思う。</p>
宇治事務局長 (文化財団)	<p>前回の会議の中で、基本方針がストーリー立ての方がわかりやすいという意見があったが、基本方針で「繋ぐ」「育む」「活用」となればストーリーになりわかりやすいと思う。そうすると、「繋ぐ」の中の「活用」は不要かと思う。また、「文化情報の発信と文化交流の促進」も「活用」に回してもよいと思う。</p>
座長 (D氏)	<p>最後に私の意見ですが、文言で「遺産」はいらないと思いました。「活用」については、大々的に取り上げる必要はないかもしれないが、文化芸術基本法にもあるように「まちづくり」として載せるとよいと思った。</p>
C氏	<p>補足として、私は新潟市の歴史まちづくりに関わっており、新発田市や村上市を見て回っているが、歴史文化に基づいたまちづくりの活動を行っており、そうすると住民が自然とそれにならった暮らし方になっている。そういう点からも文化活動には具体的な形を示してあげる必要があり、私は歴史や文化を使ったまちづくり的なものを項目として加えるべきではないかと思う。</p>
座長 (D氏)	<p>活用としてまちづくり的なものを入れる方向でよいでしょうか。</p>
一同	<p>「はい」</p>
K氏	<p>言い忘れがあったのでよろしいでしょうか。</p> <p>「文化を支える基盤の整備」とあるが、「歴史・文化・自然を支える基盤の整備」として「博物館機能の充実」を加えてはどうかと思う。</p>

A氏	博物館はいろいろなどころに出るのではないか。博物館を中心とした人材育成を佐渡市としてやっていきたいという考えがあるのではないかと思う。
C氏	博物館をどっちに入れた方がよいのか私も迷っており両方に入れたい気もしている。 先日県の博物館協議会で十日町の博物館を見学したが、そこは基本的なコンセプトが明確で素晴らしい。日本一雪が積もる十日町、織物の町、火焰型土器、これらが明確になっていて、そこで全てわかるようになっており、センター機能として素晴らしいと思った。その中で、人材育成にも絡むワークショップなどを行っているなど、やはり博物館機能は非常に重要であると感じたが、今の博物館機能はそういう状態にはなっておらず、センター博物館はきちり作ってほしいと思っているので、博物館の活用という部分を生かしてほしい。
	【総括】 ・文化を活用した地域づくりやまちづくりを体系に加える。 ・「文化」の定義を再考しわかりやすくする。 ・事務局で意見をまとめて体系を再考する。
	【協議事項4 市民アンケートについて】
石川主事	(事務局より説明) ・アンケートは、①市民アンケート、②高校生アンケート、③学校等アンケート、④文化活動を行う個人・団体向けアンケートの4種類を行いたい。 ・本日の懇談会と次回の懇談会において意見をもらったうえで、内容が固まり次第、至急実施したい。回収期間は、9月終わりごろ～10月半ばくらいまでのおよそ1か月間を予定している。 ・アンケートに追加すべき質問事項や選択肢の内容など、市民の目から見て分かりにくい箇所など意見をいただきたい。
座長 (D氏)	今日この後皆さんからいただいた意見をもとにアンケートを修正して、次回の懇談会の際にアンケートの案の修正案をもう一回出して、次回の懇談会でアンケートを作り上げるという段取りになる。アンケートの評価、感想、ご意見等を一人ひとり言っていただいて、そしてそれを事務局の方でまとめて集計する。
A氏	文化活動を行う個人、団体アンケートについて、赤泊の演劇をやっている団体や、民話の語り部の団体、狂言（能は入っているが狂言がない）を付け加えてもいいと思う。 アンケートの内容の方で、問4「興味を持っている文化の分野は何ですか」という質問について、もう少し整理して、有形の文化、無形の文化に分けて整理された方がいいのではないか。また、問5の選択

	<p>肢と比較して、問5の内容の方に入っていて問4にはないというのがある。両方に同じのがあった方がいい。</p> <p>「自然環境」には、ジオパークやジアスを入れておいた方がいい。植物関係については、例えば山の植物とか。それから、内容について、民話というのが問4にない。石仏、石碑、農具・漁具、山で使う道具といった民芸品ではないようなものも入れておいてもいいのではないか。</p> <p>問5番で、やはり、能は出ているけれど、狂言が入っていない。方言がない。佐渡弁とかいった形で入れた方がいいと思う。</p> <p>問9に、羽茂の植物園を入れてくれてありがたいと思った。できれば、体系の方にも博物館だけではなくて羽茂の植物園も明記して内容を充実していただけるようお願いしたい。</p>
B氏	<p>特段、この記載の内容でよいと思っている。</p>
C氏	<p>「佐渡に訪れる人に何を整えるべきか」という質問もあってもいいのではないかと思う。佐渡の人口の10倍近い、島外からのお客様もいるわけであり、このようなアンケートをとられる方から見て、何が充実した方がいいのかというふうな設問が一つあってもよいのではないか。</p>
E氏	<p>市民アンケートの3,000通というのは、どういう風な割り出しをしているのか、単純に3,000なのか、それとも、社会教育の調査法といったものを使って3,000なのか。ここでいう「18歳以上」というのは、何歳までの方々にとるのかりははっきりした方がいい。</p> <p>高校生アンケートも、どのような内容なのか、おおよそ市民アンケートに近いものになるような話だが、これは割合が必要なのか、それとも高校生がつぶやいているそのアイデアのようなものを大事にしようとしているのか。そのために370通でいいのか。その点の客観性を持たせるためにどうするのか考えるべきである。</p> <p>学校等アンケートは、校長が答えるのか、社会科の主任あたりが答えるのか。そこで全然違ってくると思う。学校アンケートについては、かなり信頼度が高い内容が出てくるはずであり、そここのところは丁寧にやるべき。</p> <p>アンケートというのは最初のお願いについても、短くていいから中学生が分かる内容で書いてほしい。そうでないと投げてしまう。それが、設問に関しても全部貫く内容だと思う。そのあたりは基準を下げていただきたい。</p> <p>一つのアンケートの質問の中で、2つのことは聞かないようにする。2つの観点が入ってしまうと全然信ぴょう性が置けない結果になってしまう、といったところを踏まえてながら、全体を丁寧に組み立ててもらえればいいかなと思う。</p>

K氏	<p>文化活動を行う個人、団体アンケートで、図書館などの文化施設の利用者も含め、図書館に置くなどしてもらいたい。県のアンケートでは、各文化施設に置いて調査していたようだ。</p> <p>問4について、ジラスとかジオパークは独立させて、(アンケートを)取った方がいいのではないか。</p> <p>問7など施設関係の設問について、図書館も入れていただきたい。</p> <p>問12について、「どのような公演や展覧会」の次に「講演会」を入れるべき。例えば世界遺産関係では講演会が多い。</p> <p>追加してもらいたい設問として、「今後佐渡に残していきたい文化とは何でしょうか」を入れてほしい。例えば、国指定の風俗慣習のようなものや、国指定の民俗芸能、無形民俗文化財など具体的なものを置いて、「今後、残していきたいものは何か」という項目を付け加えてほしい。</p>
H氏	<p>アンケートの対象者のあたりでは、気になったところが1、2あったが、すでに出ているので省きます。内容については、気づいた点があれば、直接連絡するという形にさせてもらいたい。</p>
G氏	<p>文化活動を行う者向けのアンケートについて、ビジョンでは自然を含めているので、自然保護団体といったものも含めてもよいのではないか。</p> <p>内容についてですが、あまり項目が多いと投げてしまうので、例えば問7については、総合計画のアンケートの問17で似たようなアンケートをとっているの、これを活用するという点で済むのではないか。</p> <p>問17「利便性が高い施設は何ですか」について、これで何を聞きたいのかというのがよくわからない。利便性が高いのはどれで低いのはどれというのを聞いても、問18とあまり違いはないかなと思う。もし問17の意見を知りたいというのであれば、「利便性を高めるためにはどんなことが必要ですか」という問いにした方が、今後の計画に生きるのではないかと思う。</p>
F氏	<p>対象者を4つのカテゴリに分けているが、一人が、2つ、3つ、同じアンケートをすることがないのか、というところが気になった。</p> <p>内容については、バレエとかダンスとかいったものは出てくるが、例えば、マラソン、トライアスロン、トレッキング、カヤックといったスポーツに関しては、文化として捉えるのかが気になった。</p> <p>アンケートの取り方については、紙媒体で予定されていると思うが、最近アンケートはほとんどスマホでやっているのが多い。それにより、かなりのコスト削減できる。若い人やスマホを持っている人にとっては、スマホでぱっと回答できると楽なので、そういうのも検討してもらいたい。</p>

<p>座長（D氏）</p>	<p>アンケート冒頭の「ご協力をお願い」のところに、「文化」とは何かというのを入れた方がよい。普通「文化」というと、狭い意味で捉えられてしまうので、歴史、自然などを含めたアンケートであるというのを示す必要があるのでは。</p> <p>内容について、選択肢が多すぎると思った。例えば、グループ分けにするとか、二段がまえにして、イエス、ノーで答えて…といった工夫があるとよい。</p> <p>選択肢について、民話があったり、なかったりしている。これは、設問によって違わないようにしてもらいたい。</p> <p>対象は、高校生だけでいいのか、中学生とかも入れた方がいいのか。</p> <p>ネットを使った回答について、佐渡市のラインや防災メールを使い、本文に「このページにアクセスすればアンケートに答えられます」というリンクを入れて、郵送による調査とは別枠で、集計に入らないが一般の人がどう思っているかを聞くのも一案かと思う。「グーグルフォームズ」というアプリを使うと簡単にアンケートが作れる。経費もかからないので、そういったものも考えてみたらどうか。</p>
	<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの配布数や回答してもらおう方、どういう目的でその対象者にアンケートを実施するのかなど、丁寧に考えて実施すべき。 ・アプリなど、インターネットから回答できるようにすべき。 ・回答率を上げるため、質問数や選択肢は多くならないように。文章は中学生でも分かるようなものにする。 ・質問の文章や選択肢で、追加すべき言葉など指摘された点も含め、意見をまとめてアンケート案を事務局で再度練り直す。
	<p>【次回の懇談会について】</p> <p>アンケートについてのみの懇談会開催は、原則として行わないものとする。アンケートの内容を事務局で固め、委員に郵送し、内容のチェックをうける。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>